

峰のひかり

発行人

社会福祉法人七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862



6月16日(土)、『障がい者総合支援センター拓心館』を会場に、少し早めの夏祭りを開催しました。『拓心館グループ』としては開所以来初めての取り組みであり、準備は全くの手探り状態でした。祭りの内容や構成等、様々なことを想定しながら職員一丸となり準備をし、祭り当日を迎えました。

拓心館グループ夏祭り開催

主任 小山内 猛

開催にあたりご協力いただいた家族会の方々、熊嶋町会の皆様、当グループを利用されている利用者様等に多数ご参加をいただき、賑やかに開催しました。焼きそば、焼き鳥、豚汁、輪投げ・くじ引きといった手作りの楽しい出店が夏祭りの雰囲気盛り上げました。

特に『児童発達支援センターはあと』による食育をテーマとした親子クッキング、遊びの中に療育の視点を取り入れた風鈴製作、的当てゲーム等は大盛況。アトラクションでは『青森大 学忍者部』による忍者パフォーマンス



マンスと『弘前学院聖愛高校』SPGによるチアリーディングでは、迫力満点の見事な演技を披露していただきました。また、手裏剣投げ体験やチャメンバーの肩に担いでもらうリフト体験は観客の皆さんも大喜びで参加されていました。

豪華景品の当たるビンゴ大会で会場の盛り上がりが最高潮となり、ラストは「古都ひろさき花火の集い」の花火が夜空を彩りました。

花火が打ち上がる時間になると肌寒くなり、拓心館の抜群のロケーションを活かし、施設内で、ゆったりと花火を鑑賞していただきました。

『拓心館グループ』初めての試みであり、不手際もありましたが、皆様のおかげで何とか無事に終わることが出来ました。

夏祭りを通して、これまで以上に地域交流を図るきっかけとなつたと感じ、来年度にもつなげていければと思います。

地域の為に

山郷館石 主任 相馬 成光

平成30年4月25日『障害者支援施設山郷館くろいし』に入所されている平田榮子さんが『黒石東小学校』へ130枚の手縫いの雑巾を寄贈するたため学校を訪れました。学校に入り感じた印象は「とてもきれいな学校」ということでした。

平田さんは、日頃より縫物や編み物を得意としており、それを活かした活動を行い地域貢献したいという思いがありました。それを実現させるため昨年9月頃から準備を始め、ボランティアで来てくださる方を募りました。10月にはボランティアの方々と一緒に手縫いの雑巾を作り最終的には130枚の雑巾を作ることが出来ました。小学生が使うものなどという事を意識し、子供達の小さな手でも使いやすいよう、少し小さ目に作るよう工夫したそうです。

寄贈のために学校を訪れ生徒たちの喜ぶ顔を見て、より一層この活動を続けていきたいと感じたそうです。



新たな活動が始まりました!

山郷館地域活動支援センター くれよん 管理者 乗田 金祐

『山郷館地域活動支援センターくれよん』では趣味・生きがいを目的として、外部講師を招いて各種活動を実施してきました。平成30年度は料理教室・書道教室に加え、絵手紙教室・ハーバリウム教室を新たに開催することになり、平成30年4月24日に「春」をテーマに絵手紙教室の第1回目を開催しました。チンゲン菜の茎を切って作ったスタンプを花柄のモチーフにして、小山内道子先生の作品をお手本に参加者それぞれに素敵な作品が完成しました。絵手紙教室の次回は11月なので少し先の事の風景が題材になりそうだと参加予定の利用者さんは楽しみにしているようです。

新たな活動も、利用者さんの生活の一部として、楽しみや励みになることを目指して今後も続けていきます。



WEB自立支援介護研修会

サンアップルホームグループ 主任 工藤 高

『特別養護老人ホームサンアップルホーム』では、『国際医療福祉大学大学院』竹内孝仁教授の提唱する自立支援介護理論(科学的介護)に基づき、一人ひとりの暮らしをより良くするための手段として、自立支援の取り組みをすすめています。

この自立支援介護理論は、おむつ外し、胃ろう撤廃等の言葉が印象的ですが、生活の質向上へ向けた手段の一つであり、動機付けとして「〇〇のためにオムツを外す」「〇〇のために胃ろうを撤廃する」等の目指すべきものをご本人と介護する側が共有することが必要です。

また、国家的な取り組みとしてもすすめられており、『科学的介護の導入による「自立支援の促進」』が、『未来投資戦略2017』の中で謳われ、平成29年6月9日に閣議決定されました。

そのような状況の中、昨年度までの自立支援介護理論を学ぶ手段は、県外研修へ参加するのみであり、一度に受講できる職員数も限られていました。しかし、今年度からは、イ

ンターネットを活用し、自施設にいなながらも、全国の他施設と共に講義を受講し、事例検討をすることも可能となりました。

インターネット等の活用により、学びの利便性が高まることも重要なことは、正しい理論の実践により、個人の尊厳の保持を目指し、生活の質を高める取り組みを行うことです。今後も自立支援介護を通じ、利用者さんお一人ひとりの生活の質を高めることに努めて参ります。



シリーズ「かだる」

児童発達支援センター はあと
児童指導員 福士 智恵

七峰会は大きな法人であるため、人事異動や職種替えがつきものです。私は平成18年に『障害者支援施設拓光園』のグループホームの世話人として入職して以降、拓光園の入所支援、短期入所担当を経験し、3年前に『拓心館グループ』に異動してきました。異動してからは相談支援の業務を2年経験し、現在は弘前市から委託されている『ひろさき子どもの発達支援事業』の業務に携わっています。

事業所紹介 拓心館グループ 津軽障害者就業・生活支援センター

『津軽障害者就業・生活支援センター』は、働くことや日常生活上の支援を必要とする障害をお持ちの方の一体的な相談・支援を行う事業として、平成14年より開始しました。

就業面においては、就職活動の支援や就職後に定期的な事業所訪問等を行う職場定着の支援、また、事業主に対する雇い入れから雇用管理における相

りました。しかし、徐々に仕事を進めていくうちに、前の業務で身に付いた経験を活かす場面が時折出てくることがあり、そこで、今までやってきたことは無駄ではなかった、次に繋がっているのだということに気付きました。そのことに気付いてからは、目の前の一見関係のないようなことでも、いつか役に立つのではと意識しながら仕事や日々の生活を送っています。

私の中で励みになってくる歌があります。ミスターチルドレンの『彩り』という歌の『僕のした単純作業がこの世界を回りまわってまだ出会ったことのないひとの笑い声を作ってく』というフレーズです。この歌のように、私の微力が巡り巡って皆さんの笑顔や幸せのきっかけになっていけるような仕事をしたいと思っています。



談及び支援を行っています。

生活面においては、働き続けるための生活習慣、健康管理、金銭管理等の日常生活における助言、住まいや余暇等の地域生活や生活設計に関することの相談・支援を行っています。

現在、年齢や障がい種別、障がい者手帳の有無を問わず、弘前市地域を中心に、350名を超える方が利用登録をしています。一人ひとりの働きたい等の様々な困り事と向き合いながら、一緒に解決できるように今後も支援を行っていきます。

減塩メニュー紹介

拓心館グループ 主任栄養士 福士八重子

ひじきを煮物だけに使わないで、旬の新たまねぎを使ってさっぱり減塩サラダにしてみました。いかがでしょうか。

- 1 ひじきはよく洗い、沸騰させたお湯で茹でてザルに取る。
- 2 新たまねぎと赤ピーマンは薄くスライスする。
- 3 カニ蒲鉾は縦にほぐす。
- 4 カイワレ大根はよく洗い半分切る。
- 5 レモン汁、オリーブオイル、酢、塩、醤油をよく混ぜ合わせドレッシングを作る。
- 6 水分を良くふき取った材料にドレッシングを混ぜ合わせて完成。

〇4人分

- 芽ひじき 20g
- 新たまねぎ 2分の1個
- 赤ピーマン 6分の1個
- カニ蒲鉾 2分の1パック
- カイワレ大根 1パック
- レモン汁 大さじ1
- オリーブオイル 大さじ1
- 酢 大さじ4分の1
- 塩 小さじ4分の1
- 減塩醤油 大さじ2分の1



七峰会介護職員初任者研修開講

平成30年6月10日(日)、今年度も「七峰会介護職員初任者研修」を開講しました。10名の受講者が参加し、介護についての基礎的な知識、技能を学びます。講師については、七峰会の経験豊富な職員が担当します。平成28年から開始したこの講座は、例年多くの方に参加して頂き、これまで38名の方が終了されました。11月4日からは後期日程が開始されます。

興味のある方は是非法人本部までお問い合わせください。

七峰会 職員大募集

社会福祉法人七峰会では、職員を募集しています。津軽の福祉を盛り上げるため、一緒に働いてみませんか？

今年度は採用試験を毎月実施しています。まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

社会福祉法人七峰会

本部事務局 担当 齋藤・今井

Tel 0172-33-8861

パン工房エイブル

パン工房エイブルでは、夏の新作パンの販売を開始しました。今回は暑い夏でもさっぱり食べられるよう、パン工房スタッフが試行錯誤し開発して5種類の新作メニューを紹介致します。

- 1 おひさまデニッシュ たっぶりの桃とカスタードクリームを乗せています。
2 ぐるぐるヨーグルト さわやかな酸味のヨーグルトクリームを包み込みました。



- 3 リッチ・レーズンブレッド これでもか! というほどにたっぶりのレーズンを練り込んでいます。
4 和風ポテトピザ 甘じょっぱい醤油ベースのソースにポテト・ツナをトッピング



- 5 ビーンズパニーニ ピリリと辛いチリビーンズと粗挽きソーセージをサンド



皆様からのご注文をお待ちしております。この機会に是非5種類の新作メニューをご賞味下さい。

米ぬかりサイクル

旭光園グループ 主任 奈良 浩喜

旭光園では就労活動の中の一つとして精米作業と納豆製造を行っています。

これまで廃棄処分をしていた米ぬかを上手く活用してボカシ肥料作りに挑戦しました。

米ぬかに納豆(賞味期限の切れた物)を混ぜ、もみ殻と適度な水分調整により発酵させて作りしました。題して



納豆ボカシ肥料の完成です。米ぬかと納豆、どちらも廃棄処分される物を活用できました。

簡単に説明していますが、出来るまでには何回も失敗を繰り返しながら完成させました。

利用者さんも熱心に野菜作りに取り組み、給食の食材としておいしく頂きました。

今年も野菜作りに活用し、おいしい野菜を作ります。



第38回七峰会 有縁物故者供養法要

法人本部事務局 主任 今井 真希

平成30年5月9日、晴れ渡る青空のもと、『津軽山草秀寺』において第38回七峰会有縁物故者供養法要を執り行いました。平山導師様の読経の中、施主大平理事長に続き、法要出席者50名による焼香の後、浄心天華碑に移動して物故者656名(今次27名)のご冥福をお祈りしました。法要後、『ラグリー』(弘前市野田)へ会場を移し法楽会(会食)を催し、旧知の方々と共に物故者への思いを馳せ、故人を懐かしみながら、ひと時を過ごしました。



各施設グループのホームページでも情報発信中!



編集後記

雨がうつつとうし、い季節となりまします。室内の洗濯物が乾かず気がなりますが、雨に濡れたクチナシの甘い香りに初夏を感じ、心を癒してくれまします。日々の気温差も激しく、体調も崩しやすい時期ですが、しっかりと食べて暑い夏に備えていきましょう。

編集委員 三浦 千秋

総合支援事業

- 七峰会総合福祉支援センター 0574-5740
旭光園生活支援センター 0574-5155
津軽市委託事業 012-44524
弘前市委託事業 012-44000
弘前市委託事業 012-21000
山郷館サポーターセンター 050-5018

障がい者支援事業

主に知的・精神

- 旭光園グループ
障がい者総合支援センター 0574-5220
津軽生活支援センター 0574-5720
就労サポートひろさき 0574-5720
自立訓練事業-通勤寮付心館 0574-5220
児童発達支援センターはあと 0574-5780
エイブル 0574-5220
就労訓練施設「勇心学園」 0574-5220
生活自立課「こころのひろば」 0574-5220

主に身体・精神

- 旭光園グループ
旭光園身体障害者短期入所事業所 0574-5155
福祉ホーム「わかほ」 0574-5155
山郷館黒石グループ
障がい者支援施設山郷館くろいし 0574-30770
山郷館くろいし(短期入所) 0574-30770
福祉ホーム「山郷館パレット」 0574-30770
山郷館総合支援センター黒石 0574-30770
グループホーム「山郷館ライオン」 0574-30770
児童発達支援センター「花りんご」 0574-30770

高齢者介護事業

介護支援事業

- 山郷館居宅介護支援センター 050-2500
サンアップル 居宅介護支援センター 050-2131
サンアップルホームグループ
特別養護老人ホームサンアップルホーム 050-2111
サンアップル短期入所支援センター 050-2111
サンアップル在宅介護支援センター 050-2131
サンアップルヘルパーセンター 050-2131
認知症グループホームサンアップル 050-2778
認知症グループホームサンアップル 050-2778
認知症グループホームわかほ 050-1176
デイサービスセンターわかほ 050-1166
サンアップル在宅介護支援センター 050-2131
小規模多機能ホームサンアップル(佐藤園) 050-5330
住宅型有料老人ホーム「わかほ」 050-18888